

修了生の活躍事例

ポリテクでの学びの期間は「かけがいのない」経験となった

現在の会社に入社する前は、県内の企業の社員食堂で調理担当チーフとして働いていました。完成をイメージしながら段取りを考え、複数の料理を作っていくこの仕事にやりがいを感じていましたが、他県に本拠地を置くこの会社が、長野県での事業から撤退することとなり、県内で仕事を続けることができなくなったことから、これを機に転職を決意しました。とはいえ、何をしたらよいか迷っていたのですが、以前ポリテクセンター松本で訓練を受講し、就職した経験をもつ姉から「ポリテク」を勧められ、どのようなことが学べるのか調べてみると、様々なコースがあることが分かりました。子供の頃からモノ作りが好きで、大人になってからは車の電装品の取付けを自ら行う等、電気設備に関する興味が高かったこともあり、「電気設備技術科」を受講することに決めました。座学の時間は少し辛いと感じることもありましたが、実技については、消防設備やシーケンス制御といったこれまで知らなかった知識や技術を日々身に付けることができ、とくかく楽しいと感じる充実した日々でした。何より、年齢や性別が異なる受講生たちと共に学んだ6か月間は、「この業界で働く」と心に決めた、同じ目的を持つ「仲間たち」と夢に向かって切磋琢磨した、かけがえのない経験となりました。

「こういう上司がいる会社で働きたい」と感じました

現在働いている会社との出会いは、在所中に同社からリクエストをいただいたことがきっかけでした。実際に会社見学をさせていただき、仕事の内容、会社の雰囲気を見て既に気持ちは固まっていたのですが、その後面接をした取締役や工場長と会話したことで、「こういう上司がいる会社で働きたい」と強く感じ、この会社に入社することを決意しました。

就職先企業での活躍

齋藤さんの業務

主として、大手メーカーから受注した製品の組立、板金への部品の実装等の業務を行っています。これに加え、自身が製作した製品の検品も行っています。海外向けの製品も多く、会社の信頼性に繋がる業務内容であるため、高い技術と集中力が求められる重要な仕事です。



株式会社プリサイス通信 (長野県安曇野工場)

『主な事業内容 (安曇野工場)』

現在1名のポリテクセンター修了生が活躍中



電装BOX組立

ブレーカー、リレー、端子台、PLC、電源装置などの電気・電子部品を収納する箱に組み込み、配線作業を行っています。電装BOXに取り付ける部品の規格に合わせてレイアウト設計を行い、使用する電線を加工していきます。部品等の組立、配線作業が完了後細かい検査を実施し、各企業に発送していきます。

株式会社プリサイス通信

さいとう
齋藤 さん(48)

[⇒前職：調理担当 (チーフ)]

電気設備技術科

(7か月訓練 ビジネススキル講習付き)

令和 6年6月 入所
令和 6年12月 修了



いずれ「なくてはならない存在になりたい」と思います！

現在は、主に大型のラベルプリンターの制御盤組立に携わっており、新たに覚えることが多く、同じミスを繰り返してしまうこともあります。しかし、日々新たなことに取組める環境は、私にとっては楽しさとやりがいを同時に味わえる環境でもあり今とても充実しています。今後、後輩が出来た時、自身が頼れる先輩として後輩に指導ができるよう電気設備技術科で学んだシーケンス制御やPLCの知識・技術も活かしつつ研鑽を重ね、いずれはプリサイス通信になくてはならない存在になりたいと思います。ポリテクセンター松本での学びは、必ずプラスになり自身の就活の選択肢を広げてくれるので、少しでもモノづくりに興味があるのなら、八口ワークに行き、訓練受講について相談してみることをお勧めしたいです。

現場の声 株式会社プリサイス通信 EMS部 工場長 様

前職での実績に加え、面接時の態度や清潔感など、短時間で信頼関係を構築できたことが採用の決め手でした。細かい気配りができ、何より段取りをしっかりと考えた上で業務にあたってくれる齋藤さんの姿勢を高く評価しています。

入社にあたり、特別な技術は必要ないと思っていますが、やはり手動工具の使い方が分かっていたらなお良く、ポリテクで学んできた方は、そうした基礎を学んでいるので安心できます。他業種からの転職でも心配する必要はありません。しっかりと後押ししますので、思い切って当業界に飛び込んできていただければと思います。

